

# JAしまねひより

2025

3

March  
Vol.108

SNSで旬な情報を投稿しています



YouTube



Instagram



LINE



Facebook



10<sup>TH</sup>  
ANNIVERSARY  
おかげさまで統合10年

特集

学生と地域・農業につながり  
JAしまね×島根大学



JALしまね 西いわみ地区本部版

みーつけた  
しまねのファーマーズ  
Shimane farmers

神門 侑花さん  
[くにびき地区本部]



みーつけた

# Shimane Farmers しまねのファーマーズ

ごうど  
神門  
ゆか  
侑花さん(29歳)

今月ばかりにびぎ地区本部。松江市玉湯町でイチゴの栽培に取り組んでいる神門侑花さんにお話を伺いました。



## 一筋縄ではいかなかった新規就農

**家庭菜園で芽生えた興味が  
農家経営の夢に発展**

島根県のイチゴ産地といえば安来市ですが、実は松江市でも少数精鋭の農家によって良質なイチゴが生産されています。2023年には市内の4つの農家が「松江いちご部会」を設立。松江市玉湯町で「侑花いちご園」を経営する神門侑花さんもそのメンバーです。



真っ赤なイチゴが実る「侑花いちご園」のハウス

神門さんは2019年に新規就農。農業にあまり縁がない子ども時代を過ごしていました。が、中学生のころにお父さんが趣味で家庭菜園を始めたことが転機に。手伝っているうちに農業に興味が出ていったそう。神門さんは「最初がうまくいかず枯らしていたのですが、栽培方法を調べて育てたらちゃんとおいしくできたんです。正しい知識を得て実践すれば結果が出るのが面白くて、もっと知りたい！」と農林高校に進学しましたと話します。



「松江いちご」のブランド化を目指し、2023年11月に「松江いちご部会」が設立。(写真右=神門さん)

高校の研修で訪れた宮崎県の農家で果菜類の奥深さを知り、農業を仕事にしようと思定。熊本県の農業大学校に進みました。イチゴ栽培に出会ったのは授業で携わったハウス実習。大きな魅力を感じ、卒業後はふるさとでイチゴ農家になろうと決めました。

島根に戻ってから3年間イチゴ農家で農業研修を行い、実際の農業現場で経験を積みながら就農の準備を進めていました。しかし、そこには予想外の壁が。「借りる土地がなかなか見つかりませんでした。学校を卒業したばかりで実績がなく、さらに若い女性が単身で就農するということで、オーナーさんの信用を得るのが難しかったんです」と神門さんは話します。

農業委員の紹介でなんとか土地を見つけ、栽培をスタート。初年度は気候に恵まれスムーズに進みましたが、2年目は寒波に見舞われ、研修先だった農家の師匠に相談しながら対策を打っていました。また、島根県農業技術センターからの提案で、ハウスの温度や照度などをモニタリングできるシステムの



就農当時を振り返る神門さん



ミツバチによる受粉作業



ひとつひとつの実を確認しながら摘果していく神門さん

作物の中でも繊細さがトップクラスのイチゴ。葉かきや摘果によって味や色づきが大きく変動します。また、受粉するときの花粉のつき方によってデコボコになったり、色むらができたり、肥料を吸いすぎると歪な形になったりするそう。「先端が分かれてゴツゴツしているのは元気に育っている証拠。おいしいはずなんですよ。でも市場には出せないの

で摘果しないと  
いけない。歪でも  
おいしいイチ  
ゴを育てたい  
「農家の私」、商  
品単価の高いイ  
チゴで経営を安  
定させなければ

## 可愛いお姫様 イチゴは傷つきやすいけど

試験運用をスタート。師匠のイチゴ農園と同時に導入し、データを共有することによって細かなアドバイスをもらえるように。神門さんは「本場に助けられました。おかげさまで今は自分一人なら生活できるぐら

いの状態になっています」と当時を振り返ります。

いけない「経営者の私」、双方の葛藤があります。でも、苦労した分だけ良く育ち、手応えがあるのがイチゴの魅力。いつも仕事を褒めてもらっているような感覚で育てています」と神門さんは話します。

イチゴは果実が柔らかくデリケートなため、収穫からパック詰めまでの一連の作業も気を使います。「手がかかるところも傷つきやすいところも、まるでお姫様みたいです」と神門さんは笑います。

## 人と交流し、 おいしいイチゴを届けたい

現在は8・7アールのハウスで年間5・7トン／10アールの「紅ほっぺ」を生産。農地を広げたい気持ちもありますが、一人で手が届く範囲の仕事をするには今がちょうどいいと言います。「土地の形状の関係で南北ハウスにしたので均一に陽が当たり、天候によっては収穫のピークが一気に来ることも。ありがたけれど大変です。春の最盛期にはほとんど眠らずに働くこともあります」と神門さんは話します。

そんな忙しい日々のリフレッシュになっているのが生き物観察。周辺の野山で野鳥やサンショウウオなどを見つけ撮影しています。宍道湖でのシーバス釣りも気分転換になっているそうです。

近い将来の目標は農園での直売設備を充実させること。神門さんは「対面で販売するとお客さんと交流でき、味への評価も聞けて参考になります。農園の面積や設備が限られているので、もう少し整備して販売スタッフも雇い、お客様を迎え入れられる体制を作りたいです」と話します。直売を通して人が出会う場所ができれば、地域の活性化にもつながっていくはず。神門さんのイチゴ作りはまだまだ可能性を秘めています。

プチっと情報!

### 侑花いちご園のイチゴ

「侑花いちご園」のイチゴは市場やAコープたまゆの産直コーナーなどで販売しています。神門さんオススメのイチゴの食べ方はカプレーゼ。モッツアレラチーズを添え、オリーブオイルと乾燥バジルをかけるだけでオシャレなオードブルが完成。春先に出回る酸味の強いイチゴも合うそう!いつもの食卓に彩りをプラスしてみてもいいかもしれませんか😊



「侑花いちご園」のイチゴ



学生と地域・農業に  
つながりを

# JAしまね 島根大学

島根大学と島根県農業  
包括的連携協定締結式



令和5年2月10日に島根大学とJAしまねは  
包括的連携協定を締結しました



昨年度、コース生が考案した有機農産物をたっぷり使っ  
たランチプレート

島根大学と包括的連携協定を結ぶJA  
しまねは、令和5年度から「島根大学地域  
人材育成コース」の学生（以下、コース生）  
とともに農業や地域に関わる活動に取り  
組んでいます。昨年度は有機農業の魅力  
や価値を伝えようと、大学の食堂で提供  
する有機農産物をたっぷり使ったランチプ  
レートづくりなどに取り組みました。

今年度は、学生に農業への理解や関心  
の醸成につながるきっかけを作ろうと、  
企画から当日の進行までコース生自らが  
関わり実践する『農業現場体験』企画・  
実践プロジェクト』に取り組みました！

開催地は  
どこがいいかな...

大学生の関心を高める  
良い方法を考えよう！



4人のコース生が中心とな  
り、JA事務局と一緒にな  
って開催地や農業体験の内容な  
ど企画案の検討を開始！

1週間に1回の頻度で  
綿密な打ち合わせ  
を実施！

「農業現場体験」  
企画・実践  
プロジェクト  
始動！

学内で募集を  
かけて、  
ついに当日…！

11月

コース生  
事前研修

10月

募集開始、  
協力先の  
生産者訪問

9月

募集案内作成、  
しおり・  
アンケート作成

8月

体験コース  
原案検討、  
役割分担決め

7月

顔合わせ、  
企画案の検討、  
意見交換



12/8

# 有機農業コース

## 赤江・オーガニックファーム

「有機農業の日」に合わせて有機農業コースを実施！  
 コース生4人と8人の学生が参加☆この日は当JAやすぎ地区本部で中国四国農政局と県の職員を講師に招き、学生たちはみどりの食料システム戦略や県内の有機農業の取り組みについて学びました。その後、安来市赤江町で有機野菜生産に取り組むグループ「赤江・オーガニックファーム」の各ほ場での農業体験やJA職員も交えた交流会を行いました。



▲中国四国農政局の職員からみどりの食料システム戦略について説明を受けました

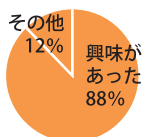


収穫方法を教わった後、実際に収穫していきます▶

### 参加した学生の声

- ・スーパーに並んでいるものの背景を知っているかいないかは食への意識や人生の豊かさに関わってくると思う。今回このような経験ができて本当によかった。
- ・有機野菜の苦労や実態だけでなく、背景にある思いが知れて良かった。
- ・農家の方とこんなに密に関わったことが初めてだった。

●参加理由



●イベントの満足度



●農業のイメージの変化



### 協力いただいた

### 生産者の方からの声

大学生を農業現場に連れてきて実際に見て体験してもらうことは良いこと。やり方を考えながら今後も続けていけるようにして欲しい。

取り組みを  
 続けて...

大学生をはじめとする若い世代は、他世代より食生活の課題が多く、食に関する意識を高める取り組みが必要とされています。今回の取り組みを通じ、しっかりアプローチしていくことで、食だけでなく農業や農産物への理解醸成につなげられると再認識することができました。また、地域や農業だけではなく、JA活動を知ってもらえる良い機会にもなりました。

11/8

# 中山間地農業コース

## えーひだカンパニー株式会社

県土の約7割を占める中山間地域での農業を学ぶ「中山間地農業コース」には、コース生4人と6人の学生が参加😊安来市広瀬町の「えーひだカンパニー株式会社」協力のもと、中山間地域での農業体験や加工体験、JA職員も交えた交流会を行いました。



◀教わりながら播種機を操縦！



昼食時間を活用してJAの取り組みを説明▶

### 参加した学生の声

- ・普段できない貴重な体験ができてとてもよかったです。
- ・農業は、労働と賃金が釣り合っていないと思っているが、その課題に取り組もうとしている方々と出会えてよかったです。
- ・初めて農業体験に参加したが、農家の皆さんが親切に教えてください、心から楽しむことができた。

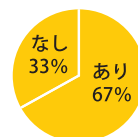
●参加理由



●イベントの満足度



●農業のイメージの変化





J Aしまねの石川寿樹組合長ら本店常勤理事は、J A 自己改革の一環として、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJ A 運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。



現場の声を  
もっと聞きたい

# 組合長が行く!

巡回の様子を収めた  
動画はコチラから

今回の  
訪問先

J Aしまね雲南地区本部管内

● Y Y . f a r m



は、飯南町の就農。パプリカや設備投資に活用できる補助金制度、国産パプリカの価格動向、ハウスの雪害対策などにつ

術を学びながら島根県立農林大学校に通い、令和3年に自営就農を開始。現在はハウス3棟でパプリカ、1棟でトマトなどを生産し、来年度はさらにパプリカ用ハウス2棟を増棟する予定です。頼重さんと優さんと

**今**回は、Y Y . f a r m を石川寿樹組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の「生の声」を伺いました。

**Y** Y . f a r m 代表の井上頼重さんと優さん夫妻は「二人で同じ目標に向かえる仕事を」と考え、1ターンプフェアへの参加をきっかけに大阪から飯南町に移住しました。パプリカとトマトを生産する師匠のもとで栽培技



頼重さん(左)に飯南町でのパプリカ栽培やパプリカの販売状況などについて質問する石川組合長(右)



Y Y . f a r m のパプリカハウスの前で代表の井上頼重さん(中央右)と優さん(中央左)、石川組合長(左から3番目)ら

「1日の最大処理量を大幅に改善しました。同法人の板垣良成さんは「J A と連携しながら作業効率を改善し、1.5ヘクタール分の白ネギ処理を実現していきたい」と話しました。

また、当J A 雲南地区本部と社会福祉法人仁寿会の就労継続支援事業所「山光園」が連携する白ネギ出荷調製の取り組みを視察。白ネギ栽培を推進する上で収穫後の調製作業の負担が課題でしたが、作業委託体制を確立したことで面積拡大に繋がりました。令和5年度には選果場の移転に併せて高性能の調製機械を導入し、

**ま**た、当J A 雲南地区本部と社会福祉法人仁寿会の就労継続支援事業所「山光園」が連携する白ネギ出荷調製の取り組みを視察。白ネギ栽培を推進する上で収穫後の調製作業の負担が課題でしたが、作業委託体制を確立したことで面積拡大に繋がりました。令和5年度には選果場の移転に併せて高性能の調製機械を導入し、1日の最大処理量を大幅に改善しました。同法人の板垣良成さんは「J A と連携しながら作業効率を改善し、1.5ヘクタール分の白ネギ処理を実現していきたい」と話しました。



黄色く色づいたパプリカ

いて意見を交わしました。また、J A 出荷分のパプリカ販売について、国産パプリカの需要が高関西方面への販売強化を要望した他、「パプリカ」飯南町」と言われるよう生産に取り組みたいと今後の展望を話しました。



社会福祉法人仁寿会の板垣良成さん(中央)と石川組合長(右から3番目)ら



白ネギの調製作業をする山光園の皆さん

## 組合長から一言



今回は雲南地区本部管内で、白ネギの集出荷施設や飯南町の堆肥センターなど、さまざまな施設を巡ったが、特に印象に残ったのは、大阪から1ターンされ、現在パプリカの栽培に取り組まれているY Y . f a r m の井上頼重さん、優さんご夫妻。お二人は、令和元年に飯南町に移住され、師匠のもとで産業体験を開始。令和2年には県立農林大学校に入学され、引き続き師匠のもとで研修を重ねながら就農準備。令和3年に農林大学校を卒業されたのを機に、パプリカ・トマト(12a、ハウス4棟)で自営就農を開始された。その後、スイートコーン(5a)やミニ白菜(2a)など露地栽培もレポーターに加えながら、現在に至っている。今後、リースハウスの増棟(2棟、12a)も予定されているとのことで、J A としても、これまで以上に支援申し上げたい。

組合長より一句  
1ターンの  
若き夫婦や  
蕎麦の花







topics  
1

## 全国家の光大会都道府県代表体験発表大会に出雲女性部・今岡さんが出場！



2月12日に横浜市で第66回全国家の光大会都道府県代表体験発表大会が開催され、島根県代表として「記事活用部」にJAしまね出雲地区本部から出雲女性部南部地区長の今岡政子さんが出場しました。

今岡さんは「『家の光』でつなぐ女性部活動～里山に広がるお互い様の輪～」と題して発表し、家の光協会会長賞を受賞。同女性部南部地区では、県内で発生した災害をきっかけに『家の光』記事などを活用して防災研修会を毎年実施。地域で「お互い様の輪」が広がり、能登半島地震・豪雨災害が発生した際には、復興支援を目的とした杵つき餅の販売やバザー、募金、フードドライブ、復興作業で不足していたタオルの収集など迅速な取り組みができたと発表しました。



発表する今岡さん



「家の光協会会長賞」の盾を受け取った今岡さん（左から5番目）と応援に駆けつけた出雲女性部南部地区の部員ら

翌日の13日には第66回全国家の光大会が開かれ、前日の体験発表で各ブロックから選ばれた9人が発表を行いました。参加者らは今後の活動に活かそうと、メモを取りながら耳を傾けました。

topics  
2

## お笑い芸人・小島よしおさんによる食育イベントに参加

12  
SDG  
12  
循環型社会  
の構築

JAしまねが協賛する山陰中央新報社主催の食育イベント「食べてもりもりハッピー教室」が2月9日、松江市のくにびきメッセで開かれ、親子約900人が来場しました。

同イベントでは、食にまつわる豊富な資格を持つお笑い芸人の小島よしおさんをゲストに迎え、親子を対象に食や健康に関するトークショーを実施。ギャグを交えながら野菜の知識や島根県オリジナル野菜「あすっこ」やサバ、ノドグロなど地元特産品の魅力を紹介しました。

当日JAはイベント内「こどもわくわくブース」に出店。日本の農業や島根県の特産品に関するクイズを行い、正解者に県オリジナルブドウ「神紅」の果汁を使ったグミをプレゼントしました。また、「しまね牛食べ比べセット」の抽選会も実施。来場者は「クイズがとても勉強になっておもしろかった」と話しました。



ヒントを読み解きながらクイズに回答する来場者ら

SDGsとは、国連が決めた「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」から、一文字ずつ取った略称です。17の目標をマークで示しています。

### 理事会情報（1月31日開催）

#### 【協議事項】

- ①高病原性鳥インフルエンザ発生農場へのJA独自支援の実施についておよび農業災害復興対策支援事業要領の一部改正について
- ②JAしまね酪農業務集約に向けた段階的取組み実施について
- ③自動車燃料事業会社化について
- ④信用事業方法書（金融機関等の業務の代理又は媒介および金銭債権の取得又は譲渡及びこれに附帯する事業）の一部改正について
- ⑤令和7年2月8日付・3月1日付機構改革の実施について
- ⑥第4次中期経営計画・令和7年度事業計画の策定について
- ⑦大口貸出について
- ⑧島根県常例検査書（隠岐どうぜん地区本部）の回答について
- ⑨令和6年度仮決算監事監査報告書 整備改善を要する事項（個別意見）への回答について

#### お知らせ

2月の理事会は2月28日開催のため、広報誌の作成スケジュール上、3月号への掲載とさせていただきます。





想いをひとつに🍀 しまねの女性部!

# 隠岐女性部

JA女性組織3か年計画

「JA女性 想いをひとつに かなえよう🍀」の実践3年目です。

つながろう🍀

まもろう🍀

かかわろう🍀

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

つながろう🍀

## 仲間と・地域と・他組織と・次代と

今後このような活動を通じて、SDGsへの理解と実践に取り組んでいきます。

また、他の地区の食文化や歴史を学習するために、定期的に研修旅行を開催しています。昨年度は島根県大田市の石見銀山と大森町の街並みを視察。改めて、昔の人の知恵や自然と共生しようとする考えは現在にも通じるものがあると実感しました。

地域をつなぐりを大切にしようと、年3回開催される牛の市（隠岐家畜市場）では、市場関係者の皆さんにお弁当を作っています。隠岐ならではの料理に舌鼓を打ってもらおうと、広く隠岐の島の食文化について知ってもらえるように取り組んでいます。

JAしまね隠岐女性部は、部員が一致団結し「楽しく・やる気」を合言葉に活動に取り組んでいます。

地域のつながりを大切にしようと、年3回開催される牛の市（隠岐家畜市場）では、市場関係者の皆さんにお弁当を作っています。

隠岐ならではの料理に舌鼓を打ってもらおうと、広く隠岐の島の食文化について知ってもらえるように取り組んでいます。



一所懸命青年連盟

# 島根県農協青年組織協議会

地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

副会長 **伊藤 慎治**さん



島根県農協青年組織協議会（以下、島根県青協）副会長の伊藤慎治さん（47）は、地元の出雲市大社町で就農し27年目を迎えます。島根県立農林大学校を卒業してからすぐ、祖父や母親が行っていたブドウ（デラウェア）栽培に取り組み、令和6年には父親から事業を承継しました。他にも無人ヘリコプター防除のナビゲーター、農閑期には地元のライスセンター従業員として、地域活動にも積極的に参加しています。

農青連では、過去に出雲青年連盟の委員長を務め、昨年度から島根県青協の副会長に就任しました。伊藤さんは「仲間である盟友と交流することで、いろんな情報を得ることができる。また、組織活動を行うことで、個人では得られない達成感や感動も得ることができる」と語りました。



## 土寄せと灌水で芋を大きく

生育適温は25～30度と高く、一方で低温に弱いため、霜で葉がすぐに傷んでしまいます。畑の乾燥に極めて弱く、一度しおれると回復が遅く、また芋の肥大中に乾燥すると、芋にひび割れが生じます。畑は耕土が深く、適度に水持ちし、かつ水はけが大切です。

### 品種

種芋から出た葉は、数枚重なって太い葉の束（葉柄・ずいき）を成し、この元が膨らんで親芋となります。親芋用の品種である「赤芽」「八ツ頭」「セレベス」は主にこの親芋を食べます。親芋の脇に側芽が発達して、肥大して子芋が付きます（図1）。子芋用品種には「石川早生」「土垂（どたれ）」などがあります。「八ツ頭」の葉柄はえぐみが少ないので、食用になります。

### 畑の準備

連作を嫌うため、同じ畑で3、4年は作らないようにします。1平方m当たり苦土石灰100gを早めに全面に散布し、畝幅90cm程度とし、深さ20cmの溝を掘ります。元肥は、溝1m当たり化成肥料（NPK各成分10%）100g、堆肥2kgを施します（図2）。肥料をまいた後、5cm程度に土をかけておきます。

### 植え付け

中間地では地温が上がってくる4月中旬ごろから植え付けができます。地上に芽を出すまでに1カ月かかるので、暖かい場所でコンテナに仮植えし、芽出ししてから菜園に植え込むと良いでしょう。種芋は芽を上に向け、株間30～40cmとし、土を10cm程度かけます（図3）。

### 追肥・土寄せ

土寄せは芋の肥大に関係し、一度に多くの土寄せをすると子芋の数が少なく、かぎ形の芋になりやすくなります。土寄せが少ないと子芋の肥大が悪くなり、子芋が地上に顔を出し、芋が緑化してしまいます。1回目は5、6葉のときに、株の周りに1株当たり化成肥料10gくらいを追肥し、高さ5cm程度土寄せします。2回目は半月後、さらに3回目はその半月後に同様に追肥し、高さ5cm程度土寄せします（図4）。

### 灌水（かんすい）

野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷり与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

### 収穫

「石川早生」のような早生品種では、早掘りしてお盆のときのお供え物や「衣（きぬ）かつぎ」として小さい芋を楽しむことができます。「土垂」や「八ツ頭」などの中晩生品種は10月ごろから収穫できますが、霜の降るまで芋は肥大します。

図1 サトイモの付き方

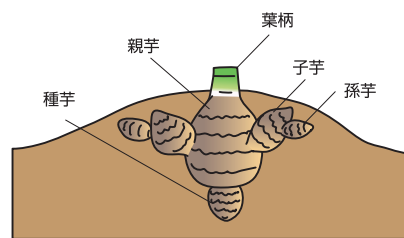


図2 畑の準備

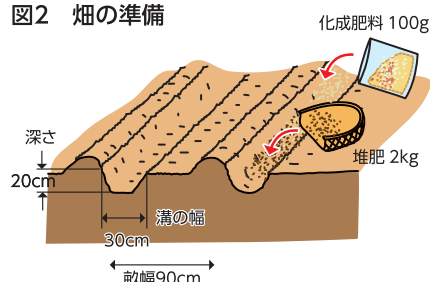


図3 植え付け

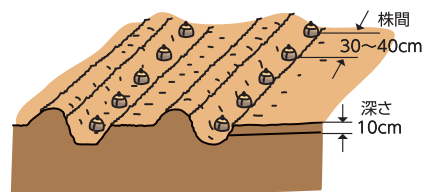
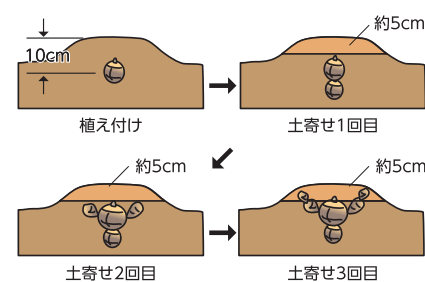


図4 土寄せ



## 栽培カレンダー(サトイモ)

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
中間地		●	●	●	●	●	●	●	●	●
暖地	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

● 植え付け    — 生育    ■ 収穫





## 益田アムスメロン 地理的表示（GI）保護制度登録を益田市長へ報告

益田アムスメロン振興協議会（田村清己会長）と益田メロン部会（世良竜一部会長）は2月6日、益田市の山本浩章市長を表敬訪問し、益田アムスメロンが「地域ブランドを守る地理的表示（GI）保護制度」の対象として登録された旨の報告を行いました。

報告を受けた山本市長は「本当におめでとうございませす。GI登録も生産者の皆様と農業者団体の皆様の永年のご努力の成果だと思えます。益田アムスメロンを全国に誇ることが出来る特産品として、ここまで育て上げられたことに対し敬意を表します。今後は当市といたしましても皆様と連携を図りながら、益田アムスメロンが更に高い評価を得て有利販売が出来、農家所得の向上につながるよう努力してまいります」と話されました。

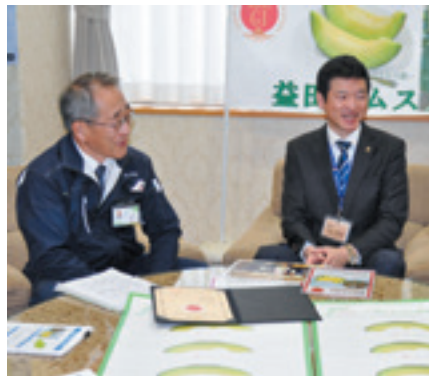
東京霞が関の農林水産省で行われた登録証の授与式（1月30日）に出席した団体は6団体で、益田アムスメロンのほか新たに6産品が登録され、令和7年1月30日現在の全国の登録数は154産品となっています。島根県内では東出雲のまる畑ほし柿、三瓶そばに続く3品目、日本国内で栽培されているメロンでは夕張メロンに次ぐ2例目の登録となりました。

当日、庄子賢一農林水産大臣政務官より正式にGI登録書を授与された田村協議会会長は、「贈答品にGIマークを付けるなど新たな工夫を加えて付加価値を上げながら、産地の一層の振興を目指していきたい」と今後の抱負を語りました。

日本海側にあつて比較的温暖で日照時間も長く、清流高津川の豊富な水と、排水性に優れた砂壤土地帯が栽培に適し、生産開始から半世紀という長い歴史の中に、メーカーとの共同による専用肥料の開発など、今日の栽培技術の確立に向けた先人たちの努力がありました。



左から、田村清己協議会会長、山本浩章益田市長、大場尚俊前部会長、世良竜一部会長



授与式後に庄子賢一農林水産大臣政務官（中央）を囲んで記念撮影

農林水産省

### 【地理的表示（GI）保護制度とは】

全国に流通している農産品や食品の中には、他地域の同種の産品との区別・高付加価値化により、産品の名前そのものに価値が認められる「ブランド産品」と呼ばれるものが数多く存在します。これら地域のブランド産品が持っている価値（生産地の気候・自然環境・伝統的な技法に紐づいた「唯一無二」の存在）を国が認め、地域共有の知的財産として国が保護します。





# まちむらネットワーク



JAしまね女性部（高橋美佐子部長）は、子どもたちに自然・環境・農業・食料・地域行事等に関心をもってもらうことを目的に、昭和54年から「みどりをまもる小学生作文コンクール」の作品募集を行っています。

今回も117作品の応募があった中から、見事島根県知事賞に輝いた六日市小学校1年上山柚季さんの作文「おじいちゃんのおこめ」を紹介します。

## 第46回みどりをまもる小学生作文コンクールで快挙



受賞者の上山柚季さん



西いわみ女性部元岡タツ子部長が賞状とトロフィーを手渡しました。六日市小学校校長室



### 島根県知事賞

## おじいちゃんのおこめ

吉賀町立六日市小学校 一年 上山 柚季

わたしのうちでは、おこめをつくっています。まいとし、わたしのうちには、ちかくのひとだけでなく、やまぐちやひろしまからもおこめをかいにきます。おこめをかいにきてくれるひとたちは、みんなおじいちゃんがつくるおこめがおいしいといってくれます。

わたしもおじいちゃんのおこめづくりをてつたいます。はるには、もみまきをします。なえをつくるきがいになればこをいれるのがわたしのしごとです。なえはこがながれていって、つちやもみがはいて、かんせいです。おとうさんがつちをいれて、おじいちゃんがかんせいしたなえはこをほびます。かぞくみんなでやります。

たうえがはじまるあと、からになつたなえはこをおかあさんとあらいます。おかあさんがしあげをしてくれます。たくさんあってたいへんけど、てつたいをすると、みんながよろこんでくれるの

で、わたしもがんばってつたいます。

いねかりをするまえに、でんぼくをはずすおてつたいをしました。でんぼくは、いのししがはいらないようにするためのものだそうです。そとはあついでたいへんだつたけどがんばりました。いつもこんなあついなかでしごとをするおじいちゃんは、すごいなあとおもいました。おこめをいれるふくろにはんこをおすおてつたいもしました。インクがじょうずにつかないときもあって、むずかしかったです。

おいしいおこめができるまでには、いろいろなしごとがあります。おこめをつくるしごととは、たいへんです。だから、かぞくみんなできょうりょくしておこめづくりをしています。これからわたしにできるしごとをしたいと思います。

おじいちゃんのおいしいおこめをたくさんひとにたべてほしいです。







## ちやぐりん× 節分フェスタを開催

JAしまね西いわみ地区本部は2月1日、益田市中吉田町の営農センターを会場に「ちやぐりん×節分フェスタ」を開催し、50人の子どもたちと保護者が参加しました。

益田市内の益田中央支店・益田東支店・西益田支店が協力して、恵方巻作り・お面作り・餅つきの体験コーナーを設け、一日早い節分と子どもたちの祭りを盛り上げました。

この日は上吉田神楽保存会の皆さんによる神楽の奉納もあり、公演を終えた鬼たちは豆を手にした子どもたちの「鬼はそと!」の攻撃に遭っていました。手強い鬼に泣き叫ぶ子どもも、最後は衣装を着た演者の皆さんと仲良く記念写真に納まっていました。

こうした取り組みは次世代を担う子どもたちに農業や自然の大切さを少しでも理解してもらおうと、JAグループが先頭に立って全国各地で食育につながる様々な活動を行っています。

## 恵方巻作り

家族で協力してチャレンジ。



立派な恵方巻が出来ました。



少しだけ手伝ってもらって全員が順番に体験しました。



## 餅つきコーナー

ぜんざい・石焼き芋を無料で提供しました。参加者は3班に分かれ、それぞれのコーナーで奮闘しました。



会場には輪投げコーナーやスカットボールといったミニゲームもあり、参加者は順番を待つ僅かな時間を利用して楽しんでいました。



## 演目：鈴鹿山

さあ本物の鬼が大勢登場。



会場騒然 子どもたちは鬼をめがけて一斉に「鬼はそと!」



まずはお面の材料を選んで製作にかかります。

## 面作りコーナー



出来上がったお面を頭に舞台狭しと熱演中。







## 令和6年産秋作トマトの生産を振り返って

J Aしまね西いわみ地区本部と益田トマト部会（金山千年部会長）は1月31日、同地区本部会議室において令和6年産秋作トマトの出荷反省会を行いました。

営農経済部大崎弘康部長は挨拶で「生育時期の気温も年々上昇し生産にはご苦労があったと思う。トマトを待っておられる消費者のためにも、皆さんの持てる技術で引き続きのご努力をお願いし、J Aとしてもしっかりと販売していきたい。近年の高温対策等をご検討の際はJ Aしまね農業振興支援事業をご活用いただきたい」と話しました。

又賀直樹副部会長は挨拶で「昨年の秋作トマトを振り返ってみると、資料にもあるように単価は良かったものの平年に比べ収量が上がらなかった。今日は令和7年産の秋作に向けて対策等皆さんの意見を参考にしたい」と話しました。

優秀な成績を納めた生産者表彰では、土耕・養液それぞれの優績表彰を行い、土耕の部最優秀賞に三浦宏さん、養液の部の最優秀賞に金山千年さん、土耕の部優秀賞に尾木涼太さんが選ばれ賞状が手渡されました。

続く広印広島青果株式会社、益田青果株式会社からの市場報告、J Aしまね本店園芸販売課による販売実績報告では「野菜全般において品薄単価高の状態が続いた」との報告がありました。



土耕の部最優秀賞を受賞した三浦宏さん

## 西いわみ農政協議会各地で食料安全保障の問題等街頭でPR

益田市農政協議会（岩本和雄会長）・津和野町農政協議会（永田寿秋会長）は地元商業施設や道の駅で2月2日、国内で消費するものは国内で生産する「国産国産」に理解を求めました。

この活動は西いわみ農政協議会（永田寿秋会長）で定めた「消費者理解のための統一行動」の一環として、昨年末寒空の中、今日の農業現場の窮状を消費者等に理解を求めようと、町内を22台のトラクターでパレードを行った、吉賀町農政協議会（齋藤一栄会長）の行動に続くものとなりました。

高止まりしたままの生産資材価格が経営を圧迫し、生産物への価格転嫁ができていない現状など、生産者側と消費者側共に物価高騰の厳しい状況に置かれているとして、「国産農産物の購入・消費拡大をお願いいたします」と、24年産米価格の上昇に理解を求めるチラシ等を手渡しました。



津和野道の駅なごみの里



国産の農産物の購入・消費拡大にご理解とご協力をお願いしました。



キヌヤ益田ショッピングセンター





## 益田ミニトマト部会が通常総会を開催しました

益田ミニトマト部会（又賀直樹部会長）は2月4日、JAしまね西いわみ地区本部会議室において令和6年度の通常総会を開催しました。

開会にあたって又賀部会長から「令和6年産を振り返ると単価が良く反収も上がったと思う。11月に入ってから良い単価を維持して終わることができた。前半の収量が低かったことはこれからの課題で、情報の共有等を図りながら解決につなげていきたい」と挨拶がありました。

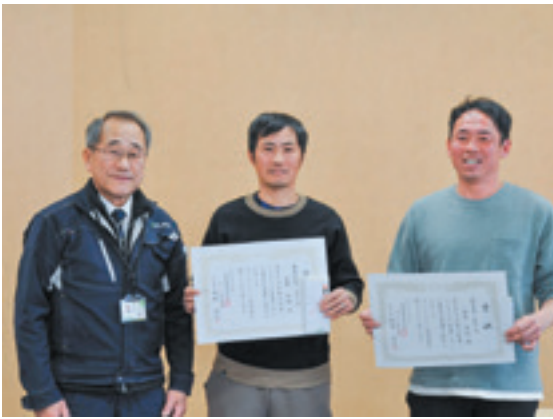
続いて西いわみ地区本部田村清己本部長は挨拶で「昨年は猛暑の中の栽培管理等大変だったと思う。天候が一番で収量確保と良品質生産のための部会の皆さんの日々のご努力に感謝申し上げます。市場における評価等をしっかりと受け止め、今後の益田ミニトマトの販売の糧としていきたい」と話しました。

続いて令和6年度における優績者の表彰を行い、反収の部最優秀賞に宅野和樹さん、優秀賞に松本貴之さんが選ばれ、二人に賞状が贈られました。

議長は部会の慣例で又賀部会長が務め、慎重審議の結果全ての議案が全会一致で可決承認されました。



田村清己本部長挨拶



最優秀賞を受賞した宅野和樹さん（中央）、  
優秀賞を受賞した松本貴之さん（右）



又賀直樹部会長挨拶

## 「安全・安心・信頼のある産地づくりをめざして」 益田トマト部会通常総会開催

益田トマト部会（金山千年部会長）は2月17日、JAしまね西いわみ地区本部会議室において令和6年度通常総会を開催しました。

開会にあたって又賀直樹副部会長は「先月末に秋作トマトの出荷反省会を行ったばかりだが、成績や技術的な面を今一度思い出し、令和7年産の生産につなげていただきたい」と挨拶しました。

次に田村清己本部長は挨拶で益田アムスメロンのGI登録の報告を行った後、「トマトにおいても生産過程で様々な課題はあると思うが、国内では福島県の南郷トマト、熊本県のくまもと塩トマトがGI登録されている。益田も安全・安心・信頼における産地を目指し、引き続き生産者・JA・関係機関が一体となった取り組みを進めていきたい」と話しました。

議長に選任された大場尚俊さんの議事進行で審議が行われ、第5号議案役員改選では監事1名の交替（新任／大畑広史さん）があったものの、金山部会長以下その他役員の留任が可決承認されました。

益田トマト部会では令和7年産の年間の出荷数量を13万ケース、販売金額1億8,500万円を目標に掲げ、「市場に信頼される、責任あるトマトづくり」を目指します。



田村本部長挨拶



又賀副部会長挨拶





# まちむらネットワーク

## 西いわみ女性部美都支部 ミニデイサービス

J Aしまね西いわみ女性部美都支部（佐々木孝子支部長）は1月30日、美都町山料集会所において、同地区の山寿会（伊吹繁則会長）の皆さんを招きミニデイサービスを開催しました。

初めに百歳体操で身体をほぐした皆さんは、益田市レクリエーション協会のインストラクターの指導で簡単な準備運動をした後、じゃんけんやお手玉・ペットボトルを使ったミニゲームを行いました。

昼食は美都支部女性部員の皆さんによって地元の食材を使った料理が用意され、参加者は大いに笑い、美味しい昼食を食べて有意義で楽しいひと時を過ごしました。



### 童謡2曲を交互に歌ってみました



2つのチームに分かれ「あめふり」「かたつむり」の童謡を1小節ごと交互に歌いました。相手チームの音程にコントロールされないよう少しずつ歌声は大きくなりました。

### グループ対抗によるカレーライスづくり



4グループに分かれてカードに描かれた6種類の具（カレー、ごはん、肉、ジャガイモ、タマネギ、人参）を集め、グループのカレーライスを完成させます。残り1枚となった全てのグループは、ボックスの中にある大量のカードから最後の1枚を引き当てようと、取り出したカードを見ては落胆の声や歓声が上がりと会場は大いに盛り上がりました。

### まずは簡単に準備運動



右手で隣の人の指を握って捕まえ、左手の指は握られないように素早く抜きます。一度に異なる動作は難しいものです。

### 地域貢献活動



2月19日には地域貢献活動の一環として、美都自然の森から贈られたタオルを再利用し、雑巾を作って町内の公民館、小中学校、保育所に届けました。



## 期限切れ廃棄農薬の回収を行いました

J Aしまね西いわみ地区本部は2月4日、益田グリーンセンターをはじめとする管内の支店や事業所等7箇所で、使用期限が切れた農薬や空き容器などの回収を行いました。

搬入された薬剤や容器は、J Aの職員が粉剤・液剤・毒劇物・一般物等に仕分けした後、依頼した専門業者によって引き取られ適切に処分されました。

使用有効期限が切れて放置されたままの農薬や空き容器の処分は、生産現場における適正な在庫管理と個々の環境改善につながるとして、J Aでは廃棄プラスチックの回収と併せ重要な取り組みに位置づけています。



セント・バレンタインデーの2月14日、益田市内の2支店で「来店感謝デー」を開催しました。

益田中央支店（伊藤達男支店長）は「ぜんざい」、益田東支店（大庭伸次支店長）では「焼き芋」、両支店には思わず店内に足を運びたくなるほどの甘い香りが漂っていました。

中央支店に来店された皆さんは、思いがけないサービスに驚きながら、カップに入ったぜんざいを手に、用意された椅子に腰かけ「美味しい。暖まった」と喜ばれました。

このぜんざいの提供には、地元西いわみ女性部下本郷支部（小方美津子支部長）の皆さんの強力な支援があり、多くの来店者を想定して事前の準備から味付け、店頭でのサービスまでお手伝いいただきました。

一方益田東支店は、しっかりと熟成させたつま芋「旭甘十郎」を100本用意し、来店される方に備えました。エコープラポ店の協力もあって業務用焼き芋機を借り受け、職員が代わるがわる焼き上がった芋を昔ながらの手作り袋に入れて来店者に手渡すと、「まあ嬉しい。暖かい。ありがとう」と思いがけないプレゼントに驚きながら笑顔で受け取っていただきました。

「ご来店に感謝の気持ちを込めて「甘味処」



益田東支店



益田中央支店





**島根県農業協同組合 西いわみ地区本部 人事異動**

- 1. 退職** [令和7年2月12日付]  
 【有期雇用職員】藤 永 康 雄 営農経済部メモリアルセンター (退職)  
 [令和7年2月28日付]  
 【正 職 員】片 廻 篤 志 西益田支店匹見事業所長 (定年退職)  
 渋谷 浩 治 益田東支店次長 (選択定年退職)  
 吉 尾 美津江 津和野支店金融共済課長 (依願退職)  
 石 川 詩 織 益田中央支店渉外推進課 (依願退職)  
 大 谷 萌 日原支店金融共済課 (依願退職)  
 【有期雇用職員】新 岡 幸 枝 営農経済部メモリアルセンター (依願退職)  
 [令和7年3月31日付]  
 【有期雇用職員】釜 野 文 江 益田中央支店金融共済課 (依願退職)



片廻 篤志さん



渋谷 浩治さん

- 2. 採用** [令和7年3月1日付]  
 【有期雇用職員】片 廻 篤 志 益田東支店美都事業所長  
 渋谷 浩 治 益田東支店金融共済課美都総合渉外

- 3. 異動** [令和7年3月1日付]

新任部署・職位	氏名	旧任部署・職位
<b>本店</b>		
共済部共済事務指導課長補佐(西部駐在)	伊 藤 法 恵	益田東支店金融共済課長補佐
<b>いわみ中央地区本部</b>		
金城支店業務課長	河 上 辰 士	益田東支店金融共済課長
<b>西いわみ統括支店</b>		
ローンセンター係長	齋 藤 一 貴	営農経済部営農企画課
<b>営農経済部</b>		
営農企画課	宮 内 猛 虎	日原支店金融共済課複合渉外
指導販売課	岩 本 朋 美	営農経済部経済課
米穀課	福 原 恵美子	営農経済部指導販売課
経済課	行 平 愛 子	営農経済部米穀課
メモリアルセンター副センター長	渡 邊 五 臣	営農経済部メモリアルセンター
メモリアルセンター	宮 内 祐 江	企画総務部経営管理課
<b>企画総務部</b>		
経営管理課	豊 田 美寿々	企画総務部総務ふれあい課
総務ふれあい課	永 戸 佐智子	益田東支店金融共済課美都総合渉外
総務ふれあい課付	椋 木 洋 子	益田東支店美都事業所長
総務ふれあい課付	釜 野 文 江	益田中央支店金融共済課
総務ふれあい課付	金 津 玲 奈	益田中央支店経済課
<b>益田中央支店</b>		
金融共済課	岩 元 典 子	西益田支店金融共済課
金融共済課	佐々木 芳 宏	西益田支店金融共済課匹見総合渉外
渉外推進課複合渉外	青 木 優 佳	企画総務部総務ふれあい課
<b>益田東支店</b>		
次長	濱 田 三 郎	いわみ中央地区本部浜田西支店業務課長
金融共済課長	大 畑 正 一	益田東支店金融共済課長補佐
金融共済課	三 浦 由 香	西益田支店金融共済課複合渉外
金融共済課	石 田 悠	益田東支店美都事業所
<b>西益田支店</b>		
西益田支店長兼経済課長	佐々木 暢	西益田支店中西事業所長
金融共済課	田 原 由加里	西益田支店中西事業所
金融共済課匹見総合渉外	日 高 規 行	西いわみ統括支店ローンセンター
経済課兼匹見事業所	西 藤 海 星	企画総務部総務ふれあい課付(益田市堆肥センター出向)
匹見事業所長	大 石 誠	西益田支店長兼経済課長
匹見事業所	川 口 裕 子	津和野支店金融共済課複合渉外
中西事業所長	青 木 稔	西益田支店匹見事業所
中西事業所	西 迫 はるみ	西益田支店経済課兼中西事業所
<b>津和野支店</b>		
金融共済課長	川 本 泉	共済部共済事務指導課長補佐
金融共済課係長	田 原 光 子	津和野支店金融共済課
金融共済課複合渉外	山 本 優	津和野支店金融共済課LA
津和野経済センター長	田 中 章 文	吉賀経済センター長
<b>日原支店</b>		
金融共済課係長	山 内 理 恵	日原支店金融共済課
金融共済課	神 林 律 子	六日市支店金融共済課
金融共済課複合渉外	石 川 ゆう紀	日原支店金融共済課LA
<b>六日市支店</b>		
吉賀経済センター長	川 上 幸 夫	津和野経済センター長









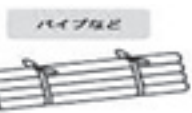
## JAしまね 西いわみ地区本部 農業用廃プラスチックの回収について

回収実施日・時間	回収指定場所	
令和7年 4月15日(火) 午前9:00～午前11:30	津和野町	J A 津和野 経済センター
		J A 山下 米倉庫
		J A 日原 支店
	吉賀町	J A 柿木 事業所
		J A 六日市 支店
令和7年 4月22日(火) 午前9:00～午前11:30	益田市	J A 営農 センター
		河成 集荷場
		益田 開発研修センター
		J A 美都 事業所
		J A 匹見 事業所

### 回収対象物

- 肥料・飼料等のポリ袋
- 農業用ポリエチレンフィルム（農ポリ）
- 農業用塩化ビニールフィルム（農ビ）
- あぜ波板・育苗箱 等

### 処理物の分別方法（分別にご協力お願い致します）

農業用フィルム (農ポリ)	農業用フィルム (農ビ)	肥料袋・ 飼料等のポリ袋	あぜ波板・ 育苗箱等
<p>荷造りに あたって の注意点</p>     			
<p>荷造りは、処理の際に取扱いやすいよう、10kg程度の大きさにし、縛って下さい。</p>			
<p><b>回収できないものについて</b> 処理都合上、紙製品は回収できません。入れ物として持って来られた場合でも、中身を出してお持ち帰り頂きますのでご理解ご協力お願い致します。</p>			

※委任状を書いていただきますので、必ず印鑑（引落しを行う通帳のもの）をお持ちください。  
 処理経費（110円（税込）/kg程度）については、回収実績（重量）に応じて、後日請求いたします。

島根県農業協同組合 西いわみ地区本部・石西地域農業用廃プラスチック適正処理推進協議会

# 益田グリーンセンター

## 売り出しを行います!!

日時

4/18

19

9:00～16:00

### 水稻農薬・園芸農薬・除草剤・ 肥料・野菜苗 大売出し

春の園芸用品・水稻資材など様々な商品を取り揃えてお待ちしております



お詫びと  
訂正

しまねびより 2月号12ページ「吉賀町に新たな集落営農型農業法人が誕生」（農）月和田設立総会記事に誤りがありました。平成28年4月1日施行の改正農地法において「農業生産法人」は「農地所有適格法人」に呼称が変更されており、誤記載をお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

文末（誤）農業生産法人としてスタート → （正）農地所有適格法人としてスタート





西いわみ地区本部からのおしらせ

読者の俳句川柳

お題「春一番」

5月のお題は「ゴールデンウィーク」です  
ご応募お待ちしております

※締切※  
令和7年  
4/15  
(当日消印有効)

- 桜待つ さやけく空に 春一番 (益田市 加藤 富之さん)
- 来るゾ来る クシヤミハナミズ 春一番 (益田市 野村 芳子さん)
- 八十路には ドリンク飲むより 春一番 (益田市 岡崎 雄一さん)
- 春一番 吹いて呼び込む 暖かさ (益田市 佐々木いさ子さん)
- 春一番 花鉢割りて 知らんぶり (益田市 柳井 文江さん)
- 春一番 黄砂を連れて やつて来る (益田市 村上登美子さん)
- 寒さ過ぎ 春一番で 深呼吸 (益田市 喜村 信江さん)
- ローバイの 香りただよ 春一番 (益田市 澁谷美保子さん)
- 春一番 あわや巻き上げ 野良頭巾 (益田市 田中千代子さん)
- 春一番 空を飛ばかど 孫が聞く (益田市 小笠原かよみさん)
- 春一番 あまり強く 吹かないで (益田市 両見かずみさん)
- 春一番 やさしい風も つれてきて (益田市 大谷 律子さん)
- 耳にして 心ほころぶ 春一番 (益田市 加藤イトヨさん)
- 春一番 花と一緒に 花粉くる (益田市 宅野ミツ代さん)
- 春一番 吹けば寝雪も 一夜でとける (益田市 初山 敏子さん)
- 啓蟄を つつく孫に 春一番 (益田市 齋藤 照平さん)
- キャンデイズ 唄う青春 春一番 (津和野町 大井 守さん)
- 黄梅が 春一番の 香りただよ (津和野町 日熊 春子さん)
- 苦しみも 吹いて消し去れ 春一番 (津和野町 大羽ミヤ子さん)
- 春一番 吹けば始まる 農作業 (津和野町 斎藤 久衛さん)
- 春一番 我が身の病も ふつとばせ (津和野町 高谷喜里栄さん)
- うぐいすや なれない声で 春一番 (津和野町 古山 包子さん)
- 春一番 過疎の村を 駆け抜ける (津和野町 桑原八恵子さん)
- 春一番 上着一枚 枝に掛け (津和野町 中野 健一さん)
- 春一番 水仙香をる あたたかさ (津和野町 豊田 往野さん)
- 熱爛や 路のとう味噌 春一番 (吉賀町 竹中 和博さん)
- 春一番の 想は残る 黄連翹 (個室にて) (吉賀町 田村 民子さん)
- 「合格したよ」孫からの 春一番 (吉賀町 中村恵己子さん)

応募方法 ●葉書に俳句か川柳かを明記してください。住所、氏名、電話番号をご記入ください。  
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課

メガネ・補聴器の専門店 PARIS MIKI

1級 眼鏡作製技能士  
認定補聴器技能者  
移動型店舗 店長 狩野 昭弘

運転用、読書用、パソコン用、遠近両用でも  
メガネ一式  
¥13,200~ 税込

『移動型店舗  
パリミキカー』  
メガネ&サングラス  
300本~

お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ 090-6955-1612 へ お気軽にどうぞ

令和7年 4月度 JA巡回スケジュール 西いわみ地区

1日(火)	9時~12時	西益田支店	18日(金)	9時~16時	益田グリーンセンター 展示会
	13時~16時	中西事業所	19日(土)	9時~16時	
2日(水)	9時半~13時	匹見事業所	23日(水)	9時半~13時	匹見事業所
3日(木)	9時半~13時	柿木事業所	24日(木)	10時~13時	六日市経済C
4日(金)	10時~15時	益田中央支店	28日(月)	9時半~13時	津和野経済C
14日(月)	9時~13時	日原事業所	30日(水)	10時~15時	Aコープ ラポ店前 (益田東支店)
17日(木)	10時~15時	パリミキフェア 美都事業所(会議室)			



## 益田産のトマトを使ったトマトジュレ・トマトカレーのご案内

西いわみ管内の特産品を使った、おいしいオリジナルブランドの加工品をご紹介します。  
管内の直売所やスーパーなどでもお買い求めいただけます。



ジュレ

トマトジュレ (トマト丸ごと1個使用)  
販売価格: **4,000円** (送料、消費税込み)  
内容量: (195グラム) 6個入り



カレー

トマトカレー (トマトをたっぷり使ったカレー)  
販売価格: **3,200円** (送料、消費税込み)  
内容量: (200グラム) 5個入り

お申し込み・  
お問い合わせ

西いわみ地区本部 営農経済部 (土・日・祝日はお休み) 〒698-0042 益田市中吉田町1000番地  
TEL 0856-23-1911 FAX 0856-24-0453



## 農業用フィルムの販売

JAしまね西いわみ地区本部は農業用フィルムの加工場を有し

災害発生時にもスピーディに対応します



農ビ加工解反機

解反機 (幅10メートルまで解反できます)

《お問い合わせ》

JAしまね西いわみ地区本部営農経済部 経済課

〒698-0024 鳥根県益田市中吉田町1000

TEL: 0856-23-0933 FAX: 0856-22-4350





## 西部農林水産振興センターからのお知らせ

# 農作物の凍霜害に対する事前対策について

近年、温暖化等の影響による急激な気象変動により、春先の凍霜害の発生が多く見られます。  
事前対策を徹底し、被害を最小限に防ぎましょう。



### 水稻

育苗中のものについて、

#### ○ハウスでの育苗

- ・ハウスの広さに余裕があれば育苗箱をできるだけ中央部に置く。
- ・ハウス内に小トンネルを設置して、二重被覆とするか、ベタ掛け資材等で更に覆う等の対策を行う。

#### ○トンネルでの育苗

- ・ハウスと同様に二重被覆する。

#### ○共通事項

- ・保温資材を使用するときは、資材と苗の空間が広いほど効果的である。
- ・霜の降りた日の日中は急激に気温上昇することが多いので、昼間の換気にも注意する。



### 野菜

#### ○施設栽培

- ・陽ざしのあるうちにハウスを閉め、保温に努める。夜間はビニールを密閉し、補助暖房を入れるなど保温に努める。
- ・加温機を設置していない場合、カーテン、トンネル等で保温被覆を強化する。特に、ハウスの出入り口、カーテン等の合わせ目、接地部の隙間を密閉し保温力を高める。ただし、急激な温度上昇による高温障害にも留意し、早めに開放する。

#### ○露地栽培

- ・果菜類であればトンネル、ホットキャップ等で保温被覆を強化する。葉根菜類は比較的霜害には強いが、ベタ掛け資材等で被覆して霜による被害を軽減する。



### 果樹

#### ○施設果樹

- ・日没前の午後3～4時頃にビニールを閉めて保温する。
- ・ハウス内に対流式石油ストーブを設置し、危険温度になる前の夜間から燃焼する。※火災に注意

#### ○露地（落葉果樹）

- ・燃焼法：灯油や固形燃料を燃やし、空気を温める。（※すすが飛散するため周辺環境に注意）
- ・送風法：防霜ファン設置園では、事前に設定どおり作動するか確認しておく。
- ・防霜資材を散布する。

#### ○共通事項

- ・園地の下草を短く刈り、昼間の日射により地温が高まるようにする。
- ・防風樹等で冷気が停滞する場所は下枝を整理して冷気が流れるようにする。

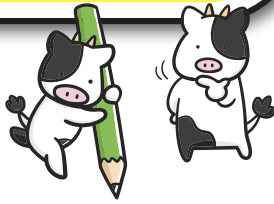


# クロスワードパズル

農協全国商品券をもらっちゃおう!!

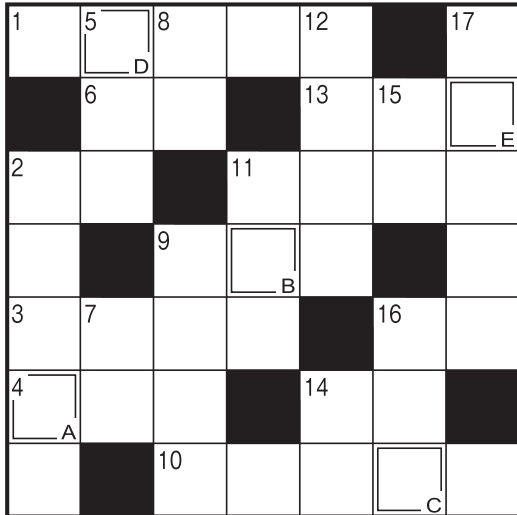
出典：(株)新聞連『JA広報通信』2025年3月号

## CrossWord Puzzle



二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

出題 ● ニコロ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

### タテのカギ

- ②タイヤにつないでシュコシュコ
- ⑤柔道場に敷かれているもの
- ⑦新しいクラスで——紹介をした
- ⑧——は友を呼ぶ
- ⑨茶道では表千家、裏千家など
- ⑪真新しい——を着て入社式に臨んだ
- ⑫漢字で書くと枸橘、枳殻。春に白い花を咲かせます
- ⑭海のパイナップルと呼ばれる海産物
- ⑮肥料の三要素は窒素、——酸、カリウム
- ⑯パソコンの入力装置のひとつ
- ⑰4月のこと。——・フール

### ヨコのカギ

- ①富山湾でとれるものがある有名な春の味覚。青く光ります
- ②茶わんのセットや重箱を数えるときに使う言葉
- ③手品、マジックともいいます
- ④来週の火曜日——にもう一度来てください
- ⑥祝い事につきものの魚
- ⑨麻雀であがる前にかけることも
- ⑩これが終わると新学期。入学式もあります
- ⑪インクを付けて押します
- ⑬テニスの試合で——の応酬が続いた
- ⑭鬼さんこちら、手の鳴る——へ
- ⑯よく×(バツ)と対比されます

## 応募要項

### 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



### 賞品

正解者の中から抽選で30名(JAしまね全体)の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

### 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

### 宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1

J Aしまね 西いわみ地区本部 総務ふれあい課 「クイズ」係  
2025年4月4日(金)(当日消印有効)

・先月号は、西いわみ地区本部管内で56人の方からご応募いただきました。

### ◆先月号の答え◆

#### 「ウグイス」



# 俳句の広場

## 最優秀賞

鬼役となり逃げ惑ふ鬼やらひ

浜田市 三沢 孝子様

選句者「白魚火」編集長・副主宰  
安食彰彦先生

## 優秀賞

老幹に見る飛梅の気概かな

邑南町 山塚 豊子様

出て見よと姉より電話寒の月

出雲市 小豆澤典子様

元日や十七文字に手を合わす

浜田市 沖田 邦子様

## 佳作

獅子舞に出合ひたじろぐ散歩犬  
兵庫県 小田 慶喜様

具だくさんなる田舎風雑煮餅  
邑南町 三宅伊知枝様

日脚伸び工事車両の並ぶ道  
安来市 斎藤美重子様

おもてなし城梅一枝玄関に  
出雲市 大森喜代子様

芝青む元町長のホールインワン  
津和野町 田中とよし様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください!

「家の光」4月号 定価922円

ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



J Aしまねびよりへ、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。(最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句)4月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

### 応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。  
※受賞作品は地域名、氏名(または雅号)を掲載します。

### あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1  
J Aしまね ふれあい福祉課  
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」  
F A X : 0852-67-7708  
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

# 島根をもっと元気になりたい



## 一緒にJAで働きませんか



JAしまねは「農業振興」「地域振興」「地域貢献」を積極的に展開し、大地の恵みと食文化の尊さを次世代に継承していきます。

### 「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」

- ◎地域の資源を生かし、希望と活力に満ちた農業を実現します
- ◎地域の文化を守り、心豊かに安心して暮らせる地域社会を創造します
- ◎水と緑と人を育み、豊かな大地と食を次世代に引き継ぎます

### 「信頼、満足、熱意、みんな一番」

- 『し』…組合員・利用者からの信頼、一番をめざします
- 『ま』…組合員・利用者の満足、一番をめざします
- 『ね』…仕事への熱意、一番をめざします

## JAしまね 令和8年4月採用職員募集のご案内

- 募集職種 正職員
- 応募資格 ①令和8年3月大学院・大学・短大・高専・専修学校卒業見込の方  
②大学院・大学・短大・高専・専修学校を卒業して3年以内の方
- 受付期間 令和7年3月3日(月)～3月31日(月)
- 選考方法 WEB上での筆記試験・適性検査・面接試験
- 応募方法 マイナビ2026よりエントリーのうえ、ご応募ください。

※採用情報など詳しくはJAしまねHP、マイナビ2026または下記までお問い合わせください。

#### お問い合わせ

〒690-0887島根県松江市殿町19-1  
JAしまね人事部人事課 担当：三上・梶谷・高尾  
TEL: 0852-67-7711 FAX: 0852-67-7714  
ホームページ <https://ja-shimane.jp>  
E-mail [jinji\\_saiyou@ja-shimane.gr.jp](mailto:jinji_saiyou@ja-shimane.gr.jp)



マイナビで  
エントリー  
受付中



# ヤングサポート PG

健康補助食品

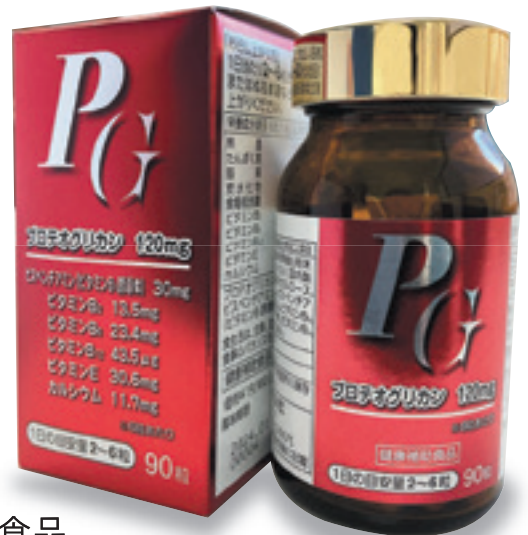
健康な関節軟骨に欠かせない

関節軟骨の構成成分

プロテオグリカン 120mg配合

※6粒あたり

プロテオグリカンは、  
関節や肌にある保水・弾力成分で、  
美容や関節ケアの分野で注目されています。



【名称】プロテオグリカン含有鮭鼻軟骨抽出物加工食品

クミアイ家庭薬です。



協同薬品工業株式会社

島根営業所

〒699-0631 島根県出雲市斐川町直江3951-1

お問い合わせ先 平日 9時～17時

TEL (0853) 25-9166





## 鶏肉と白ねぎのマヨネーズ照り焼き



### コメント

- ・鶏肉を漬けて焼くだけ！とてもジューシーで柔らかな仕上がります。
- ・お弁当のおかずにもぴったりです。

### 材料（4人分）

鶏モモ肉… 1枚（約300g）  
 白ねぎ……………1本  
 サラダ油……………小さじ2  
 A 砂糖……………小さじ1  
 醤油……………大さじ1  
 酒……………大さじ1  
 マヨネーズ……………大さじ2  
 ミントマト……………4個  
 刻み海苔……………適量

### 作り方

- ①鶏肉は一口大に切ってAをもみ込み、30分以上漬ける。白ねぎは長さ2cmに切る。
- ②フライパンに油を熱し、白ねぎを入れて中火で焼き色がつくまで時々回しながら焼き、取り出しておく。
- ③②のフライパンに皮を下にして鶏肉を並べ、鶏肉の皮に焼き色がついたら裏返し、蓋をして弱火で蒸し焼きにして中まで火を通す。
- ④火が通ったら、焼いた白ねぎと鶏肉を漬けて残ったAを加えて絡める。
- ⑤器に盛り、ミントマトと刻み海苔を添える。

### アレンジ

- ・鶏肉は手羽元や手羽先、むね肉でもグッド！
- ・白ねぎをもやしやキャベツ、あすこ、スナップエンドウに替えてもOK！
- ・ご飯の上のせて鶏マヨ丼にして食べてもおいしいです。

### 材料（4人分）

じゃがいも……………2個  
 あすこ……………1袋  
 薄口醤油……………小さじ2  
 バター……………10g  
 かつお節……………5g

### 作り方

- ①じゃがいもは皮をむいて、2cm角に切る。
- ②鍋にじゃがいもとひたひたの水を入れ、火にかけて柔らかくゆで、水をきる。
- ③あすこは長さ2～3cmに切り、軽くラップをして電子レンジ（600W）で約2分間加熱し、水気をきる。
- ④②と③をボウルに入れ、熱いうちに醤油をふり、バターとかつお節を加えて混ぜ合わせる。
- ⑤器に盛り、かつお節を飾る。

### コメント

- ・じゃがいもはレンジで加熱して柔らかくすると時短になります。
- ・新じゃがのホクホク感にバターとおかかの風味とコクをプラスした一品です。

### アレンジ

- ・炒り卵やツナ缶、ハム、ウインナー、ピザ用チーズを加えてボリュームアップ！
- ・あすこは、ブロッコリー・子持ち高菜・ピーマン・アスパラガス・小松菜・キノコなどに替えてもOK！

## 新じゃがいもとあすこのバター醤油和え



### JA島根厚生連

## 健康散歩

## むくみを解消しよう

女性に多いむくみ。「夕方になると足がむくんで靴がきつく感じる」「顔のむくみやまぶたの腫れが気になる」という方も多いのではないのでしょうか。

病気が原因で起こるむくみもありますが、多くは生活習慣が原因です。軽いむくみなら放っておいても解消しますが、むくみが続く場合は生活習慣を見直してみましよう。



### ○むくみとは？

体に余分な水分がたまった状態のことで、運動不足、睡眠不足、女性ホルモンの影響、塩分の摂りすぎ、水分摂取不足など、さまざまな原因で起こります。これらの原因にどうアプローチするとむくみを解消できるのか紹介します。

### ○むくみの解消法

- ・体を動かす  
ずっと同じ姿勢でいると血行が悪くなりむくみやすいで

す。ウォーキングや階段を使うなど、できるだけ体を動かすことを意識しましょう。

### ・塩分を控える

塩分の摂りすぎは、体内の塩分濃度を下げようと体に水分がたまりやすくなります。減塩を心がけましょう。

### ・入浴して体を温める

体を温めることと水圧による刺激で血流が良くなります。シャワーで済ませず、湯船につかりましょう。

### ○毎日少しずつケアを

むくみは疲れがたまっているサインです。疲れをためないよう、少しずつ自分の体を労わりましょう。

ただし、むくみの中には病気が原因で起こるむくみもあります。命にかかわることもあるため、「急にむくんできた・体の片方だけむくんでいる」に当てはまる場合や、「息苦しい・痛みがある」など気になる症状がある場合は医療機関を受診しましょう。